

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公表番号】特表 2019-521543 (P2019-521543A)
 【公表日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-030
 【出願番号】特願 2018-556421 (P2018-556421)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 7/06 (2006.01)
 H 0 4 W 16/28 (2009.01)
 H 0 4 W 72/04 (2009.01)
 H 0 4 W 72/12 (2009.01)
 H 0 4 B 17/24 (2015.01)

【F I】

H 0 4 B 7/06 9 5 4
 H 0 4 W 16/28
 H 0 4 W 72/04 1 3 6
 H 0 4 W 72/12 1 5 0
 H 0 4 B 17/24
 H 0 4 B 7/06 9 5 6

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 8 日 (2019.7.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セルラ時分割複信 (time division duplex, TDD) ミリ波システムにおいてサウンディング参照信号 (sounding reference signal, SRS) を通信するための方法であって、

ユーザ装置 (user equipment, UE) により、前記 UE に利用可能なビーム方向のセット内の 1 つ以上のビーム方向に従って、送信ポイント (transmit point, TP) から 1 つ以上の信号を受信するステップと、

前記 UE に利用可能な前記ビーム方向のセットから、前記 1 つ以上の信号に基づいて、SRS 送信のためにビーム方向のサブセットを選択するステップであり、前記 UE に利用可能な前記ビーム方向のセットは、SRS 送信のために選択された前記ビーム方向のサブセットから除外された少なくとも 1 つのビーム方向を含む、ステップと、

前記 UE により、前記ビーム方向のサブセットから除外された前記少なくとも 1 つのビーム方向を使用せずに、上りリンク SRS 送信のために選択された前記ビーム方向のサブセット内のビーム方向に従って、上りリンク SRS 信号を前記 TP に送信するステップとを含む方法。

【請求項 2】

前記 1 つ以上の信号は、下りリンク同期信号、ブロードキャスト信号又はデータ信号のうち少なくとも 1 つを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

SRS 設定メッセージを受信するステップを更に含み、

上りリンクSRS送信のために前記ビーム方向のサブセットを選択するステップは、
前記SRS設定メッセージで搬送されたSRS設定パラメータに基づいて、前記UEのためのSR
S送信機会の数を決定するステップと、

前記UEのための前記SRS送信機会の数に基づいて、前記ビーム方向のサブセットに含ま
れるビーム方向の数を選択するステップと

を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記SRS設定メッセージは、セル特有のSRS設定メッセージであり、前記SRS設定パラメ
ータは、異なるビームについてのSRSサウンディング機会の最大数、各ビームが再送信さ
れる必要がある回数、及び周波数くし形間隔のうち少なくとも 1 つを含む、請求項 3 に記
載の方法。

【請求項 5】

前記SRS設定メッセージは、UE特有のSRS設定メッセージであり、前記SRS設定パラメ
ータは、前記UEに割り振られたサブキャリアオフセット、前記UEに割り振られたコード系列
、前記UEに割り振られたSRSサブフレームサウンディング時間、前記UEに割り振られた異
なるビームについてのSRSサウンディング機会の数、各ビームが再送信される必要がある
回数、前記UEに割り振られた周波数くし形間隔、前記UEに割り振られた時間 / 周波数多重
フラグ、及び前記UEに割り振られた、それぞれ割り振られた期間のサウンディング時間の
ためのTPビームインデックスのうち少なくとも 1 つを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記SRS設定メッセージは、UE特有のSRS設定メッセージであり、前記SRS設定パラメ
ータは、前記UEの異なる無線周波数 (radio frequency, RF) チェーンからのSRS送信が時
間ドメイン又は周波数ドメインにおいて多重されるべきであるか否かを示す時間 / 周波数
フラグを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

前記UE特有のSRS設定メッセージは、周波数くし形間隔を含み、前記時間 / 周波数フラ
グは、前記UEの異なるRFチェーンからのSRS送信が、周波数くし形間隔に従って前記周波
数ドメインにおいて多重されるべきであることを示す、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記時間 / 周波数フラグは、前記UEの異なるRFチェーンからのSRS送信が前記時間ドメ
インにおいて多重されるべきであることを示す、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ビーム方向のサブセットを選択するステップは、

前記 1 つ以上の信号のうちどれが最高の受信信号電力レベル、最高の受信信号対干渉比
、及び最高の受信信号対雑音比のうち 1 つを有するかを識別するステップと、

前記 1 つ以上の識別された信号を受信するために使用される前記 1 つ以上のビーム方向
に基づいて、前記ビーム方向のサブセットを選択するステップと

を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

セルラ時分割複信 (time division duplex, TDD) ミリ波システムにおいてサウンデ
ィング参照信号 (sounding reference signal, SRS) を通信するための方法であって
、

基地局により、ビームフォーミングされた参照信号をユーザ装置 (user equipment,
UE) に送信するステップであり、前記ビームフォーミングされた参照信号のそれぞれは、
前記基地局に利用可能なビーム方向のセット内のビーム方向に従って送信されている、ス
テップと、

前記基地局により、前記UEからフィードバックメッセージを受信するステップであり、
前記フィードバックメッセージは、前記UEに送信された前記ビームフォーミングされた参
照信号のうち 1 つ以上を識別する、ステップと、

前記基地局に利用可能な前記ビーム方向のセットから、前記UEから受信した前記フィー

ドバックメッセージに基づいて、SRS受信のためにビーム方向のサブセットを選択するステップであり、前記基地局に利用可能な前記ビーム方向のセットは、SRS受信のために選択された前記ビーム方向のサブセットから除外された少なくとも1つのビーム方向を含む、ステップと、

前記基地局において、前記ビーム方向のサブセットから除外された前記少なくとも1つのビーム方向を使用せずに、上りリンク受信のために選択された前記ビーム方向のサブセット内のビーム方向に従って、前記UEから上りリンクSRS信号を受信するステップとを含む方法。

【請求項 1 1】

異なるビームについてのSRSサウンディング機会の最大数、各ビームが再送信される必要がある回数、及び周波数くし形間隔のうち少なくとも1つを搬送するセル特有のSRS設定メッセージを送信するステップを更に含む、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 2】

前記UEに割り振られたサブキャリアオフセット、前記UEに割り振られたコード系列、前記UEに割り振られたSRSサブフレームサウンディング時間、前記UEに割り振られた異なるビームについてのSRSサウンディング機会の数、各ビームが再送信される必要がある回数、前記UEに割り振られた周波数くし形間隔、前記UEに割り振られた時間 / 周波数多重フラグ、及び前記UEに割り振られた、それぞれ割り振られた期間のサウンディング時間のための基地局ビームインデックスのうち少なくとも1つを搬送するUE特有のSRS設定メッセージを送信するステップを更に含む、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記UEの異なる無線周波数 (radio frequency, RF) チェーンからのSRS送信が時間ドメイン又は周波数ドメインにおいて多重されるべきであるか否かを示す時間 / 周波数フラグを搬送するUE特有のSRS設定メッセージを送信するステップを更に含む、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記UE特有のSRS設定メッセージは、周波数くし形間隔を含み、前記時間 / 周波数フラグは、前記UEの異なる無線周波数 (radio frequency, RF) チェーンからのSRS送信が、周波数くし形間隔に従って前記周波数ドメイン上において多重されるべきであることを示す、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記時間 / 周波数フラグは、前記UEの異なる無線周波数 (radio frequency, RF) チェーンからのSRS送信が前記時間ドメインにおいて多重されるべきであることを示す、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記基地局が前記上りリンクSRS信号のそれぞれを受信するために使用するビーム方向を示すSRS設定メッセージを送信するステップを更に含む、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記UEから、UEが生成したSRS設定メッセージを受信するステップであり、前記UEが生成したSRS設定メッセージは、前記UEの異なる無線周波数 (radio frequency, RF) チェーンからのSRS送信が時間ドメイン又は周波数ドメインにおいて多重される予定であるか否かを示す時間 / 周波数フラグを含む、ステップを更に含む、請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記UEが生成したSRS設定は、前記UEの異なるRFチェーンから送信される上りリンクSRS信号が前記時間ドメインにおいて多重され、それにより、前記上りリンクSRS信号が前記UEに割り振られた時間リソース上で1つずつ送信されることを示す、請求項 1 7 に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記UEが生成したSRS設定は、前記UEの異なるRFチェーンから送信される上りリンクSRS信号が前記周波数ドメインにおいて多重され、それにより、前記上りリンクSRS信号が周

波数くし形に従って送信されることを示す、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 20】

セルラ時分割複信 (time division duplex, TDD) ミリ波システムにおいてサウンディング参照信号 (sounding reference signal, SRS) を通信するように構成された基地局であって、

プロセッサと、

前記プロセッサにより実行するプログラミングを記憶した非一時的なコンピュータ読み取り可能記憶媒体と

を含み、前記プログラミングは、

ビームフォーミングされた参照信号をユーザ装置 (user equipment, UE) に送信するための命令であり、前記ビームフォーミングされた参照信号のそれぞれは、前記基地局に利用可能なビーム方向のセット内のビーム方向に従って送信されている、命令と、

前記UEからフィードバックメッセージを受信するための命令であり、前記フィードバックメッセージは、前記UEに送信された前記ビームフォーミングされた参照信号のうち 1 つ以上を識別する、命令と、

前記基地局に利用可能な前記ビーム方向のセットから、前記UEから受信した前記フィードバックメッセージに基づいて、SRS受信のためにビーム方向のサブセットを選択するための命令であり、前記基地局に利用可能な前記ビーム方向のセットは、SRS受信のために選択された前記ビーム方向のサブセットから除外された少なくとも 1 つのビーム方向を含む、命令と、

前記ビーム方向のサブセットから除外された前記少なくとも 1 つのビーム方向を使用せずに、上りリンク受信のために選択された前記ビーム方向のサブセット内のビーム方向に従って、前記UEから上りリンクSRS信号を受信するための命令と

を含む、基地局。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

この開示の実施例は、上りリンクSRS送信を実行するときにUEにより使用されるべきビーム方向のサブセットを選択する技術を提供する。図 4 は、上りリンクSRS送信のための実施例の通信シーケンス400のプロトコル図を示す。図示のように、基地局は、1 つ以上の下りリンク信号410をUEに送信する。下りリンク信号410は、下りリンク同期信号、ブロードキャスト信号、データ信号、セル特有のSRS設定メッセージ及び / 又はUE特有のSRS設定メッセージのようないずれかの種類の下りリンク信号を含んでもよい。下りリンク信号410は、ビームフォーミングされたミリ波信号でもよい。代替として、UEがデュアルコネクティビティモードで動作しているとき、下りリンク信号は、より低い周波数の信号 (例えば、従来のLTEキャリア上で通信される信号) でもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

この開示の実施例は、上りリンクSRS送信を受信するために基地局により使用されるべきビーム方向のサブセットを選択する技術を更に提供する。図 6 は、上りリンクSRS送信のための実施例の通信シーケンス600のプロトコル図を示す。図示のように、基地局は、1 つ以上のビームに従って、1 つ以上のビームフォーミングされた参照信号610をUEに送信する。ビームフォーミングされた参照信号610は、チャンネル状態情報参照信号 (channel

state information-reference signal, CSI-RS)でもよい。実施例では、ビームフォーミングされた参照信号610のそれぞれは、異なるビームを使用して送信される。このような実施例では、それぞれのビームフォーミングされた参照信号は、対応するビームに関連するビームインデックス番号を含んでもよい。UEは、ビームフォーミングされた参照信号のうち1つ以上を選択し、次に、1つ以上の選択されたビームフォーミングされた参照信号を識別するフィードバックメッセージ620を基地局に送信する。UEは、選択基準に基づいて、ビームフォーミングされた参照信号610のうち1つ以上を選択してもよい。例えば、UEは、最高の受信信号電力レベル、最高の受信信号対干渉比及び/又は最高の受信信号対雑音比のような最善の受信信号品質を提供するビームフォーミングされた参照信号を選択してもよい。対応する信号品質情報(例えば、チャネル品質情報(channel quality information, CQI))もまた、フィードバックメッセージ620を介して基地局に通信されてもよい。フィードバックメッセージ620は、ミリ波信号でもよい。代替として、UEがデュアルコネクティビティモードで動作しているとき、フィードバックメッセージ620は、より低い周波数の信号(例えば、従来のLTEキャリア上で通信される信号)でもよい。基地局は、フィードバックメッセージ620内の情報に基づいて、SRS送信を受信するためにビーム方向のサブセットを選択してもよい。一実施例では、基地局は、フィードバックメッセージ620内のインデックスに基づいて、SRS送信を受信するためにビーム方向のサブセットを選択する。このような実施例では、インデックスは、ビームフォーミングされた参照信号610を送信するために使用されるビームのうち1つ以上を識別してもよい。このサブセット内のビーム方向の数、及び基地局がSRS送信を同時に受信できるビーム方向の数は、UEにより各ビームで通信される必要があるSRS送信の数に影響を与え得る。